

## こんな時だからこそ

### ～ 令和2年度における諸対応と今後の方向性について ～

同窓会長  
守木 貴

---

---

令和2年は、「禍」の年となりました。世界中の多くの人々が新型コロナウイルス感染による病に倒れ、ワクチン開発等も途上にある中、目に見えないウイルスとの戦いは、経済的にも社会的にも未曾有の影響をもたらしています。

このような状況を受け、私たち甲府東高校同窓会でも、例年11月に行っております総会・懇親会を中止し、それにかわる役員の紙上会議等により、例年の総会審議事項を扱ってきています。その経過等については、新聞広告(山梨日日新聞5月2日朝刊)や、同窓会通信(10月下旬発行)、HP等を通じ、皆様にもお伝えしてきているところです。

例年総会でご承認いただく諸事項(前年度事業・決算報告、本年度活動方針・内容、予算概要等)につきましては、このたび、常任理事会、理事会を構成する役員が紙上で確認した結果を、次ページ以降のように紙面にまとめ、本会HP等でお示しする形とさせていただきます。どうぞ高覧の上、ご理解いただきますようお願いいたします。

コロナ禍を受け、多くの制約がある中ですが、熱意ある役員、事務局をはじめ関係の皆様のお支えにより、本会事業を維持し、次年度につなげるための作業が続いています。どのようにしたらこの状況下で県内外の会員をつなぎ、どのようにしたら母校支援の力を生み、どのようにしたら本会の活力をさらに高めることができるのか…。そうしたことへの思いや願いを寄せ合う中、コロナ禍にあっても、いやコロナ禍にあるからこそ見えてくる今後への道筋もあるような気がしています。なんとか互いの意見や情報を交流し合い、本会の明日の姿を描いていこうとする計画や営みも、こんな時だからこそ、例年とはまた違った次元で可能なのではないという気もしてまいります。

今後、母校支援、会員相互の親睦を図る本会の事業につきまして、「with コロナ・after コロナ」の観点からも検討を続け、その経過についてHP等を通じて随時お知らせしてまいります。

皆様にはどうぞご自愛下さいますとともに、今後の本会事業へのご理解とご協力をお願い申し上げます。